

第14回各務原市新総合体育館建設基本構想・基本計画策定委員会 議事概要

日 時 令和4年8月30日（火）午後2時～
 場 所 各務原市役所 産業文化センター2階第3会議室
 出席委員 鈴木壯委員長、三井栄副委員長、横山浩之委員、三村武俊委員、
 川上進委員、加藤正通委員、田中峰生委員、今尾謙二委員、
 永田美帆委員、苅谷道宏委員

1. 委員長挨拶

2. 議事

①パブリックコメント等で頂いたご意見について

②答申について

議事録（要旨）

議事 ①パブリックコメント等で頂いたご意見について

資料1 いただいたご意見と市教育委員会の考え方（案）

資料2 市民ワークショップ等の開催結果

資料3 新旧対照表（案）

事務局説明	
・パブリックコメントでいただいたご意見と市教育委員会の考え方（案）について説明した。 ・市民ワークショップ、各務原特別支援学校生徒ヒアリング、市民説明会の開催概要と結果について説明した。 ・パブリックコメント等でいただいたご意見を踏まえて、計画書を修正した結果を説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員	新総合体育館において、一般市民の使用料金はどのように設定されるのか気になる。 市民が優先して利用できることを基本としつつ、市民が使っていない時に市外の人に使ってもらえるようにできると良いと思う。
委員	新総合体育館のキッズルームや総合運動防災公園での遊びを通じて、子どもたちが成長できると良い。また、全国に誇れるような施設になると良い。
委員	体育館は、今までは自分たちが使うための施設であったが、これからは「みるスポーツ」が大事になる。プロスポーツを観戦することでスポーツへの関心が生まれると思う。 オリンピックで若い競技者たちが、勝ち負けではなくお互いに賛辞を送っていて素晴らしいと感じた。スケートパーク等、若い人たちができる

	ような新しいスポーツの場も設けられると良い。 親子で体験できるような教室等を企画することで、子どもたちが体を動かす楽しみを知り、それがいろいろなスポーツをすることに繋がっていけば良いと思う。 従来の考え方に捉われず、次世代を見据えて考えていきたい。パラスポーツの実施などについても、今後の運営の中で考えていく必要がある。 行政の力だけでは、みるスポーツ等、様々なことができる施設を運営することは難しいと思う。民間の知恵が必要と考える。
委員	計画段階ではあるが、施設のハード面・ソフト面がまとまってきて嬉しい。近年、子どもたちのスポーツ離れ、文化離れが進んでいるが、少しでも興味を持てる施設をつくっていくことが大事だと思う。 パブリックコメントでは、事業費を心配する意見があったが、新総合体育館の建設は多くの市民の長年の悲願であり、効果を得るために事業費をかけて実現させることも重要と考える。子どもたちの将来を考えて施設を整備して欲しい。 民間の発想を取り入れながら、お金を生み出す施設になると良い。
委員	現総合体育館では、正規のコート面積が取れていないことから利用者の事故が発生しており、改修したとしても限界があり、選手の能力向上や健康増進、スポーツをみる楽しみに繋げることは難しいと考える。 スポーツを推進していくためには、まずは環境づくりが大事だと思う。 新総合体育館の運営に関しては、今後時間をかけて検討を行い、利用者が増加するような施設になると良い。 現総合体育館の取り壊しについては、新総合体育館が整備された後で決めれば良いと考える。視察先では、新体育館の整備後に旧体育館の利用者が増えた事例があったため、各務原市でもそのような可能性が考えられる。
委員	パブリックコメントでは、多くのご意見があり、新総合体育館に対する市民の方々の関心の高さを感じた。反対意見もあるが、期待しているという印象が強く伺えた。 スポーツのあり方が時代とともに大きく変わってきており、現総合体育館の改修では追いつかないと考える。また、娯楽の多様化が進んでおり、子どもたちのスポーツ離れを心配している。個人的には、新総合体育館の整備は、スポーツを通じた人づくりに寄与するのではないかと考える。 周辺道路の整備など、交通の利便性については今後の課題である。にぎわい創出の観点から、人が集うために利用しやすい環境にしていくことが大事だと思う。
委員	現総合体育館は、予約のとりにくさや競技中の事故、駐車場の不足等、いろいろな問題を抱えている。何か力になりたいと思い、策定委員会に

	参加させていただいた。 いろいろな方からの意見や先進自治体の事例視察を通じて、市民利用をメインに考えた計画ができたと思う。また、ワークショップを通じて、高校生など、これから大人になる人たちに話を聞いたことも良かったと思う。 現総合体育館は、夕方や土日についてはスポーツ団体が使っており、一般市民が使えない状況である。面積が広くなる新総合体育館が同様の状況にならないようにしなければならない。 現総合体育館の取り壊しについては様子を見て考えていけばいいと思う。また、施設の料金設定等の問題点についてもこれから考えていければ良い。
委員	パブリックコメントの意見から、公園等の付随施設にも期待している人が多い印象があり、このような複合施設は必要であると感じた。 交通アクセスの問題や近隣住民への配慮等の課題はあるが、良い計画にまとまっていると思う。 これから事業を進めていく中でも、いろいろな人の意見を聞いて欲しい。全ての市民が行ってみたいと思えるような施設になれば良いと思う。
副委員長	市民の声に誠実に対応されており、委員会として評価できる計画になったのではないと思う。 市民に対して「もらう」という言葉は使わない方が良いため、計画書内の表現を修正していただきたい。
委員長	委員会でとりまとめた計画内容で整備することができれば、体育館、公園のどちらにおいても、市民にとって良い環境でスポーツができるのではないと思う。
事務局	計画書の原案については、副委員長からご指摘いただいた文言を修正し、最終的な内容とさせていただきたい。

議事 ②答申について

資料4 答申書（案）

委員長説明	
・策定委員会として取りまとめた基本計画（案）について、市教育委員会に対する答申書の案を説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	答申書（案）に対する委員の皆様からの意見は無いということで、この内容で私から代表して市教育委員会に提出させていただく。 最後に、委員の皆様から策定委員会の感想を伺いたい。
委員	策定委員会にて、自分の意見をどこまで言えたか不安は残るが、この2年間でいろいろな経験をさせてもらえて良かった。新総合体育館の完成

	が楽しみである。
委員	委員の活動は当初想像していたより長かったが、これだけ大きい事業を計画するには、たくさん話し合いが必要であると感じた。 新総合体育館がスポーツをやる人、やらない人、老若男女、様々な人が使えるような施設になると良い。
委員	時代の流れに伴い、若い世代や若い子どもたちがどのようにスポーツと向き合うべきなのか、例えば、中学生の部活のあり方等が問われている。スポーツに携わっている方々の意見を聞いて、自分自身もスポーツに対する考えを見直す機会となった。これからは自分自身もスポーツを続けていきたい。 新総合体育館は、多くの人が集い、新たな人の繋がりができるような場所になると良い。 策定委員会でどれだけのことができたかは分からないが、自分の感じていることは伝えることができたと考えている。
委員	若い頃にスケートボードをやっていたが、当時はスケートボードがあまり認知されていなかったため、やる場所がなく困っていた。策定委員会でスケートボードパークの設置を提案したところ、計画に反映されて驚いた。意見を反映していただけたのだと感じた。委員の皆様と先進自治体へ視察に行くことができ、普段なら出会わない人たちと話し合うことができて貴重な経験となった。
委員	新総合体育館の整備について、昔から要望を挙げていたが、ようやく動き始めたと感じる。市民に喜んでいただけるような、立派な施設が整備されれば良いと思う。 先進自治体への視察や策定委員会での協議から、いろいろな学びがあった2年間であった。
委員	現総合体育館のオープンイベントに参加しており、現総合体育館には非常に思い出がある。また、スポーツ少年団での指導等、子どもたちのスポーツに関わることを多くやってきた。 スポーツを通じて、子どもに良い体験をさせることが最も大事だと思う。また、指導者は子どもたちにスポーツの楽しさを教えるのが仕事だと思う。新総合体育館を整備して良い環境を提供することで、スポーツの魅力を次世代に繋げていくことができると考える。 施設を整備して終わりではなく、にぎわい創出など、どうすればその施設が活用できるかということを引き続き考えていかなければならない。
委員	コロナ禍で中止となっていた地元の夏祭りを久しぶりに開催したが、多くの人が集まり、にぎわいは大事であると感じた。 新総合体育館もにぎわいが生まれるような場所にしたい。
委員	スポーツには相手をリスペクトする力があると思う。新総合体育館は、

	そのようなスポーツの力が発揮されるような場所になって欲しい。
副委員長	次の設計段階こそ、より慎重に進めていく必要があると考える。策定委員会は、委員の皆様には毎回納得いただきながら進めていけたことが良かったと感じている。
委員長	委員長が務まるか不安であったが、委員の皆様が懸命に取り組んでくださり、なんとか務めることができた。 大学教授の他にスポーツ臨床心理士として活動しているが、策定委員会での協議は、カウンセリングの流れと似ていると感じた。カウンセリングは、患者の話を聞いて内面的な問題を把握していく中で、その人らしさのイメージが浮かびあがる感覚がある。策定委員会においても、多くの協議や視察を踏まえて、新総合体育館に対するイメージをだんだん明確にすることができ、最終的に一つの計画として取りまとめることができたと感じている。

3. その他

（事務局）計１４回にわたる委員会でのご審議に感謝している。皆様には、今後も新総合体育館・総合運動防災公園の整備について見守っていただきたい。

今後、各務原市教育委員会や各務原市での審議を経て、最終的な基本計画書を策定し、市ウェブサイト等で公開する。

（以上）